

初めまして新校舎 さようなら旧校舎

改築中の弟子屈中学校新校舎が完成



自然光がたくさん差し込む新しい校舎
(上・左・右)

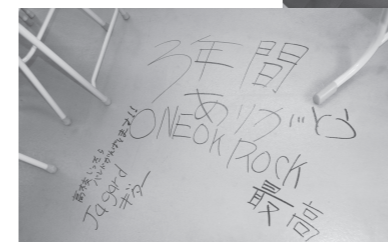


昨年からの改築工事が進められていた弟子屈中学校の新校舎が、この度完成しました。
コンパクトソーラー・システムというコンセプトで建設された新しい校舎は、鉄筋コンクリート造3階建てで、延べ床面積は5千686.59平方メートル。校舎と体育館、給食センター(平成23年度着工)をひとまとめにし、太陽光発電や、自然光・自然換気による室温管理を取り入れ、利便性と環境に配慮した構造となっています。体育館などにはハンノキが使われ、木の温もりあふれた造りです。また、地域の防災拠点としての役割も担います。

2月24日に関係者に建築工事現場が公開されたほか、3月27日には町民の皆さんに完成した校舎と旧校舎が公開されました。
新しい校舎の完成に伴い、解体工事が始まる旧校舎では3月14日、翌日に卒業式を控えた3年生が別れを惜しんでメッセージを書き込みました。



お世話になった校舎に思い出を刻む生徒



書き込まれたメッセージ

卒業式を控えた3年生が別れを惜しんでメッセージを書き込みました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

2月23日

乙武さんを弟子屈へ

UDプラザがフォーラムと講演会の準備会を開催



弟子屈UDプラザ(三木亨代表)の皆さんが2月23日、フォーラム・講演会の準備会を開催しました。
フォーラム・講演会は「乙武さんを招いてユニバーサルな地域づくりにはずみをもっと優しい旅への勉強会(東京)と共催で、5月21日(土)、22日(日)に予定しています。(34ページ参照)フォーラムでは体の不自由な方の旅について考え、講演会には「五体不満足」の著者として知られる乙武洋匡(おとたけひろたか)さんを講師に招きます。この日は3回目の準備会で、パンフレットやチケット、役割分担などについて話し合いました。

3月3日

お茶やお琴で優雅なひととき ケア・サポートまつやまでひな祭り茶会



高齢者向け住宅ケア・サポートまつやま(川湯温泉)で3月3日、ひな祭り茶会が行われました。
ロビーに集まった入居者の皆さんに、まず茶道裏千家の皆さんがお点前を披露。その後、一人一人にお茶が振る舞われました。また、りんどうの会の皆さんによる「さくらさくら」「うれしいひなまつり」などのお琴の演奏や、舞の披露が行われ、入居者の皆さんと一緒に曲を口ずさむなどして楽しみました。

3月14日

新たな旅立ちを祝福 自衛隊入隊予定者の激励会



町自衛隊協会(八幡豊行会長)と町自衛隊父兄会(岩崎忠夫会長)主催の弟子屈町自衛隊入隊予定者激励会が3月14日、役員委員会室で開催されました。
今年は、弟子屈高校を卒業した安代勝信君と石原諒君、方川峻君、吉井晴紀君の4人が入隊を予定しています。八幡会長のあいさつ、徳永町長や自衛隊関係者の激励の後、岩崎会長から記念品が手渡されました。入隊予定者を代表して安代君が「弟子屈で育ったことを誇りに、若さと情熱で頑張りたい」と、決意も新たに語りました。

2月26日

きれいなチョウになったよ 川湯保育園でキアゲハが羽化



川湯保育園(清水節子園長)で2月26日、キアゲハが羽化しました。
食育の一環として緑の畑で育てていたニンジンに、キアゲハの幼虫がいるのを見つけたのが8月ころ。10匹ほどを園内の飼育箱で育て、3・4・5歳児がニンジンの葉をあげたり、観察を行ったりしてきました。さなぎになったのは12月ころ。それから2カ月あまりを経て2月26日の朝、園児が登園してくると美しいチョウになっていたそうです。
園児たちは「すごくきれい」「こんなに大きなチョウになるとは思わなかった」などと話し、喜んでいました。

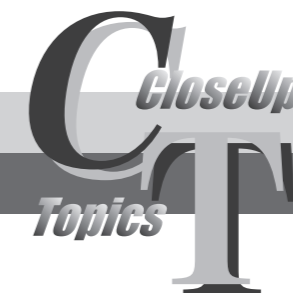
3月6日

女性の力で地域づくりに貢献したい 女性のつどいを開催



「未来を築くのは女性の元氣!」をテーマに、てしかが町女性のつどい(弟子屈町女性団体協議会主催)が3月6日、公民館で開催されました。
地域の課題や社会問題について理解を深めようと毎年開催されています。今年は183人が参加。「絵本の会おはなしはらっぱの活動をとおして」と題した講話や、弟子屈町消費者協会の活動報告などが行われ、参加した皆さんは真剣に聴き入っていました。
午後からは「笑いは健康の源!!」と題して、日本笑い学会理事・ユーモアコンサルタントの矢野宗宏さんが生涯学習講演会を行い、集まった皆さんを魅了しました。

町の話題



町の話題

感謝と期待を胸に 学びやを巣立つ

卒業式・卒園式



涙をこらえて呼び掛けを行う卒業生。大好きな先生ともお別れ
(3月18日/弟子屈小学校)

在校生などに迎え入れられ
(3月20日/摩周丘幼稚園)



卒業生代表による答辞(左)と答辞に聴き入る先生方(上)
(3月15日/川湯中学校)

3月1日の弟子屈高校鈴木見校長を皮切りに、町内小中学校で卒業式、幼稚園・保育園で卒園式が行われました。
今年の卒園児・卒業生は、幼稚園・保育園が50人、小学校73人、中学校75人、高校53人です。
弟子屈中学校では、吉田亨校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。8人が卒業を迎えた川湯中学校(室山俊美校長)では、在校生代表が送辞を、卒業生代表が答辞をそれぞれ贈りました。
弟子屈小学校(伊藤新一校長)では、真新しい中学の制服などに身を包んだ卒業生が、やや緊張した面持ちで式に臨みました。
摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)では、卒業生一人一人に卒業証書が手渡されたほか、皆勤賞や精勤賞の表彰も行われました。
たくさんの保護者などが見守る中、式を終えた卒業生は、希望を胸に思い出っぴいの校舎を後にしました。

喜びの日の最後の校歌(3月1日/弟子屈高校)